

なゆたん通信

燐

伝えるための工夫その① 第63号 令和7年5月30日発行

子どもにも役立つ「やさしい日本語」

みなさんが相手に合わせて「いつもより“やさしく”話してあげよう」と思ったときにその話し方は普段と比べてどう変化するのでしょうか。

親切に、穏やかに「優しく」話すということは多くの方が意識をされていると思うのですが、「相手が理解しやすいように」という観点から「易しく」話すという考え方を今回はご紹介します。

「やさしい日本語」とは、1995年1月17日に阪神・淡路大震災が発生した時に、被災地の外国人が必要な情報を受け取ることができない事例が発生したことをきっかけに、そういった人たちが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたものです。

当初は日本に在留する外国人のために整備されたものでしたが、お年寄りや知的障害を持つ人、そして言葉を覚える途中の子どもたちにも有効なものとなっています。

「やさしい日本語」という名称には「優しい(KIND)気持ち」と「易しい(EASY)伝え方」の二つの意味があります。さまざま自治体がこの「やさしい日本語」のガイドラインを整備していますが、話し言葉においては以下のポイントが強調されています。

- ・情報をシンプルにする（一つの文に一つの情報）
- ・曖昧な表現をしない

話し言葉を「やさしく」言い換える例

はやく風呂入るぞ!

そろそろ片付けてお風呂に入ろうか

そろそろクマちゃんをおうち(箱・ケース)にもどそうか

(片付けが終わったら)お風呂に入ろうか

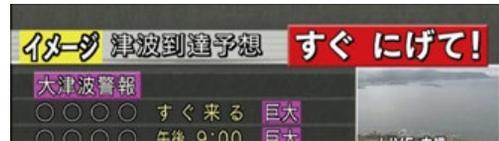
“優しい”言い方

“優しく”もあり“易しい”言い方

「やさしい日本語」は表現方法に明確な正解がないため、“これにさえ従えば必ず伝わる”といえるほど万能ではありません。ですが、こうしたよりわかりやすい言い換えの模索などをすることが、子どもたちとの会話をスムーズに進めるためのヒントになるかもしれません。よければガイドラインなども読んでみてください。



被災当日の神戸の様子
(写真提供:神戸市)



災害発生時のテレビ放送ではあらゆる人がすぐに事の重大さを理解できるよう、あえて子どもでも読める文章で次に起こすべき行動が示されています。



画像の引用元

阪神・淡路大震災「1.17の記録」灘区国道43号線岩屋交差点周辺(写真コード:b059)
<https://kobe117shinsai.jp/area/nada/b059.php>

地震が発生したときは(警視庁HP)

<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/jishin/hassei.html>

「やさしい日本語」や関連するガイドラインの例

みんなで作る京都 - 参加しよう!京都市「市政参加とまちづくり」ポータルサイト

外国人にわかりやすい やさしい日本語 -保育・幼児教育編-

<https://tsukuru-kyoto.city.kyoto.lg.jp/wp-content/uploads/2021/11/ff66236406e1ab6919473c269d879a05.pdf>

京都市:「分かりやすく伝えるための手引き」及び「コミュニケーション支援ボード」の作成について

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000235/235459/tebiki.pdf>

川崎市:川崎市〈やさしい日本語〉ガイドライン

<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000127357.html>

「知的障害のある人の合理的配慮」検討協議会報告書、およびわかりやすい情報 提供のガイドライン

全国手をつなぐ育成会連合会全国手をつなぐ育成会連合会(プレスリリース)

<http://zen-iku.jp/info/release/3084.html>

「やさしい日本語」の実用例

神戸市:「やさしい日本語」で、情報を分かりやすくお届けします

https://www.city.kobe.lg.jp/a78534/simple_japanese.html

役所をやさしく の記事一覧 - withnews(ウィズニュース)

<https://withnews.jp/articles/series/100/1>

NHKやさしいことばニュース | NEWS WEB EASY

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>

WEBサイトおよびラジオ放送で提供されている
「NHKやさしいことばニュース」は災害情報に限らず
平常時のニュースもわかりやすいように工夫された文体で
読み上げられています。

子どもたちがニュースを読む・聞くときの練習にもなります。



その他参考資料

プロが教える 子供に伝える話し方 | 伸学会

<https://www.singakukai.com/column/5128.html>